

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)姫路駅南事務所ビル新築工事	階数	地上10F
建設地	兵庫県姫路市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,439 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027/9/31 予定	評価の実施日	2025年7月7日
敷地面積	1,241 m ²	作成者	中田
建築面積	924 m ²	確認日	2025年7月8日
延床面積	8,589 m ²	確認者	中田

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算: 建設, 修繕・更新・解体, 運用, オンサイト, オフサイト

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 86%
③上記+②以外の: 86%
④上記+: 86%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.0
Q2 サービス性能: 3.3
Q3 室外環境 (敷地内): 3.0
LR1 エネルギー: 2.5
LR2 資源・マテリアル: 3.3
LR3 敷地外環境: 2.9

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境 (Q1のスコア=3.0)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア=3.3)

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア=3.0)

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー (LR1のスコア=2.5)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア=3.3)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア=2.9)

3 設計上の配慮事項		
総合 姫路駅のすぐ南にある敷地での設計の為、周辺建物との調和を計画としている。また、建物利用者が休憩等でも利用できる、共用ビジネスラウンジを設け、建物利用者の心理的・快適性を高めるように配慮している。	その他 0	
Q1 室内環境 事務室において、開口を十分に確保、また、各開口にブラインドを設ける事により、制御をして、昼光を利用するように配慮している。	Q2 サービス性能 階高や事務所の天井高さを高くしている事、共用ビジネスラウンジを設け、建物利用者の心理的・快適性を高めるように配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺のまちなみに配慮した景観とし、敷地内に緑化を行うことで、環境に配慮している。
LR1 エネルギー エネルギー消費低減に対して、一般的な建物と同程度の配慮をしている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を使用する事、部材の再利用可能性向上への取組み事により資源に配慮している。	LR3 敷地外環境 地球温暖化に対して、一般的な建物と同程度の配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される